

「心をギヤ2(セカンド)、ギヤ3(サード)に」

校長 十田 孝志

13日には第72回卒業式が挙行政され、多くのご来賓並びに地域の方々や保護者の皆様のご参列をいただき、厳粛な雰囲気の中で感動的な卒業式にすることができました。24名の卒業生はそれぞれの道に旅だっていきましたが、どこへ行っても本校の卒業生として胸を張って頑張ってくれるだろうと信じています。

ところで、卒業していった3年生はみんなは、今頃、「中学校での3年間という時間があっという間に過ぎ去っていった」ということをしみじみと感じているのではないかと思います。そのことを1年生と2年生は卒業して行った先輩たちの姿から学んでくれたでしょうか。先輩たちが中学校の3年間で蓄えてきた自分の力を全て出し切って高校入試と真っ向勝負していた姿、入試の前日まで目標から目をそらさずに戦っていた姿をしっかりと目に焼き付けてくれていたでしょうか。

1年生は中学校の中心学年である2年生に、2年生は卒業生と同じように、翌年の3月には高校入試を控えた勝負の学年に、それぞれ進級します。真っ向勝負の時は待たなしてやってきます。他の誰でもない「自分自身のために」それぞれが、新しい学年に向けて心のギヤを一つ上げていくことが必要です。分かりやすく言えば、みんなの知っている、ワンピースのルフィーのように「新2年生は心もギヤ2に」「新3年生はギヤ3に」して頑張ろうということです。



3年生を送る会!!



9日(土)、3年生を送る会を行いました。生徒会が中心となって企画や準備を行い、ドッジボールを仲良く楽しんだ後、卒業生に多読賞や皆勤賞等の手作りの賞状が贈られました。そして、会の最後には、卒業生と在校生からお互いに合唱を送り合いました。とても心に残る感動的な送る会になりました。



第72回 卒業式!!



13日(水)、第72回卒業式を挙行政いたしました。当日は、保護者や来賓、地域の皆様方に多数ご参列いただき、盛大に行うことができました。

お別れの言葉では、代表の手打奏さんが、中学校生活の思い出や両親、並びに今までお世話になった方々へ感謝を述べ、とても感動的でした。また、式の後に水引中学生全員が心一つにして合唱を行いました。

24名の卒業生の皆さんの今後の成長を大いに期待しています。

学校関係者評価

水引中学校区では学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、学校を評価してもらい学校運営に役立てるために、10名の学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)の皆様、学校の教育活動等について4段階で評価していただきました。なお、評価の低かった項目やご指摘いただいた点につきましては、来年度、改善のための取組を充実させたいと思います。

番号	事項	評価項目	学校関係者評価委員による評価(集約)			番号	事項	評価項目	学校関係者評価委員による評価(集約)					
			評定(数値平均)	段階	人数				平均	評定(数値平均)	段階	人数	平均	
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A	5	3.5	10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A	1	3.1	主な意見 ・PTAも小中一貫となった効果、成果を知りたい。 ・地域の方々の協力を常に要請するように努めてほしい。		
		B	2					B	7					
		C	1						C	0				
		D	0						D	0				
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	A	5	3.6	11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	A	5	3.6	運動会等で生徒の活動の姿から成長を感じた。 ・運動会等で小学生をリードし、よき手本となって活動している姿をよく目にす。		
		B	3					B	3					
		C	0						C	0				
		D	0						D	0				
3	(2)	子供たちは、楽しんで生き生きと学校生活を送っている。	A	7	3.9	12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	A	4	3.5	より高い芸術や文化を体験させたい。 ・子供たちの意欲を、どんどん実施してほしい。		
		B	1					B	4					
		C	0						C	0				
		D	0						D	0				
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A	4	3.5	13	(6)	英語教育の推進について、小・中・高の連携を活かして充実が図られている。	A	4	3.5	英語教育でも小中一貫の良さを生かして小学校への助言を広くしてほしい。 ・英語もチャレンジしてほしい。		
		B	4					B	4					
		C	0						C	0				
		D	0						D	0				
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	A	4	3.5	14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んでいっている。	A	5	4	いつ行ってもよくあいさつしてくれる。また聞いたことにもハキハキと答えてくれる。 ・地域の方々との接点を多く取ってほしい。		
		B	4					B	3					
		C	0						C	0				
		D	0						D	0				
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との関係性を築いている。	A	2	3.0	15	(8)	子供たちは、地域の中で様々な活動に元気に参加できた。	A	3	3.3	唐沢の清掃活動を一緒にした。 ・地域の諸活動に元気に参加してほしい。 ・地域の元気の源である。		
		B	5					B	4					
		C	0						C	1				
		D	1						D	0				
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A	4	3.5			運動会や文化祭などに中学生たちが良い見本を見せることで、小学生にもいい影響を与えてほしい。 ・また、あると学習にも参加してほしい。 ・学年で学ぶことにより、「知りたかったこと」がうまくまとまったりして小中一貫の良さは大切にしてほしい。						
		B	4											
		C	0											
		D	0											
8	(5)	学校の施設・設備は定期的な安全点検等がなされている。	A	6	3.8			定期的な安全チェックを十分に行ってほしい。 ・施設・設備はよく管理されている。						
		B	2											
		C	0											
		D	0											
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A	4	3.4			学校の実態や生徒の評価が保護者に伝わり、親子一緒に改善に努力させたい。 ・授業参観等は一生懸命で望ましい姿勢です。						
		B	3											
		C	1											
		D	0											

「いのちの授業」・「学校保健委員会」



1日(木)4校時、がんサポートかごしま副理事長 野田真記子先生を講師にお迎えして、「いのちの授業」を2年生の学級で行いました。この授業の中で、「がんに関する知識」や「一日一日を精一杯生きていくことの素晴らしさ・大切さ」等先生のこれまでの経験を通して、私たちに多くのことを教えてくれました。



また、14時から学校保健委員会と水引校区青少年健全育成会の合同教育講演会が行われ、「がん教育・いのちの授業について」を演題に、引き続き野田先生に講演をしていただきました。「いのちの授業」をはじめたきっかけや「いのちの授業」で伝えたいこと、「命の大切さ」等の話しをしていただきました。今日一日を通して、これからの自分の生き方について改めて考える良い機会になりました。野田真記子先生、本当にありがとうございました。

3月25日(月)で平成30年度が終わります。保護者、地域の皆様方には、本校の教育活動に対し深くご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

4月からは新体制でさらに努力してまいります。来年度もどうぞよろしくお祈りします。

鹿児島学習定着度調査結果

1・2年生を対象に行った鹿児島学習調査の5教科平均通過率についてお知らせします。
【1年生】 平均通過率 57.3% (市平均62.7%)
【2年生】 平均通過率 54.7% (市平均52.2%)
今回の調査結果を踏まえ、今後さらに学力を向上させるための指導方法の改善に努めてまいります。